

一般質問通告書一覧表

令和6年6月18日招集
第36回嘉手納町議会定例会

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12番 金城利幸	1. 強化が進む嘉手納基地負担増の軽減実現に三連協と県のさらなる連携強化と行動の継続で強い意思表示を示せ	<p>さる5月16日、本町議会基地対策特別委員会では「嘉手納基地で常態化する米軍パラシュート訓練に厳重抗議する意見書」を県に対して国や米軍への厳正な対応を求めた。溜政仁県知事公室長の議会への対応では「3月に伊江島の飛行場を視察した内容」や「知事による関係省庁との要請」についての説明と同時に「諦めるわけにはいかない。国などに言い続けることが大事。地元の三連協と一緒に頑張っていきたい」と力強い発言があった。またその際に、県から頂いた資料に目を通すと5月10日に玉城デニー知事が上京して、木原稔防衛大臣宛てに「嘉手納飛行場の負担軽減について」の要請文があった。主な記載要点として。</p> <p>(1) パラシュート訓練の実施をしないこと。伊江島補助飛行場の滑走路整備の完了までの間は国外県外での実施を。</p> <p>(2) 外来機の飛来制限の実施。</p> <p>(3) 航空機騒音規制措置の厳格な運用実施。運用状況の報告と実施効果の検証と結果の公表。</p> <p>(4) パパループの航空機使用の禁止。</p> <p>(5) 住宅上空の飛行及び夜間の訓練飛行の回避対策。夜間の航空機騒音による健康への影響調査と適切な措置。</p> <p>(6) MQ-9配備の見直し。</p> <p>(7) PFOSなどに関し県が求める基地内立ち入り調査の実現及び米軍による原因究明調査と対策等の実施。</p> <p>以上が記載要点だが、いずれの事案も嘉手納飛行場に近接する3市町の住民にとって「命と暮ら</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	<p>1. 強化が進む嘉手納基地負担増の軽減実現に三連協と県のさらなる連携強化と行動の継続で強い意思表示を示せ</p> <p>2. 嘉手納町の「人口減少対策に施策拡充を」に関する確認と提言</p>	<p>しの安全」に関する切実な問題である。同時に玉城知事の要請行動自体が県内米軍基地周辺に住む住民を含めて全県民の危機感を訴える切実な声として断言していることは極めて重要な行動と認識し評価する。</p> <p>今回、私は議会の要請の場において、この適時適正かつ敏速な玉城知事の国への要請行動に対して改めて謝意を表し、今後もさらなるご尽力を申し入れた。</p> <p>またさる 5 月 23 日予定の 6 カ月連続の降下訓練の中止を求めて、21 日には米第 18 航空団そして 22 日には沖縄防衛局・外務省沖縄事務所に口頭での要請を実施している。さらに 5 月 22 日の報道では當山嘉手納町長と渡久地北谷町長も無人偵察機MQ-4 トライトンの飛来に配備を認めないとする強い意思を示していることも町民・県民の熱い賛同を得ていると確信する。</p> <p>いま私たち住民が求める負担軽減とは逆に増加の一途をたどる米軍基地から派生する様々な問題。その即解決は困難と理解はするが、今後三連協の首長同志のさらなる連携強化に加え、県との連携もより強化推進し適時・適正な行動を継続することでの強い意志表示を求めて提起し、この一連の事象に町長の所見を伺いたい。</p> <p>當山町長は「嘉手納町の人口減少対策に施策拡充」をテーマにして、さる 3 月の新聞報道で次の内容で説明をされている。2024 年度は人口対策として町独自事業で 7,360 万円を計上、「子育て支援事業と住宅対策のソフト・ハード両事業」で力を入れるとし、次の要点も言及している。</p> <p>①嘉手納町は中部で唯一人口が減少している地域。大幅に施策を拡充することで、若い世代に町で子育てしてもらいたい。</p> <p>②人口減少の主な要因は宅地・住宅不足。(町の調査)</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	2. 嘉手納町の「人口減少対策に施策拡充を」に関する確認と提言	<p>③人口減でサービス産業の撤退で空洞化。</p> <p>④若年層の転出が顕著。就職や結婚を機に町を離れ地元で住宅が見つからず町外で家を作るケースも多い。</p> <p>⑤建物を壊したいが住宅建設の予定はない。老朽化や空き家のままでの建物の放置を改善したい。(新事業：解体の後押しだが住宅建設の条件はない)</p> <p>⑥新たな土地を生むことで町民の受け皿をつくりたいとしている。</p> <p>その一方で同時期に北谷町の米軍基地返還後の「街づくり成功事例」の報道もあり嘉手納町と北谷町を考察する機会になった。以下北谷町の現状。</p> <p>①メリット：街が人気になり経済効果の上昇で地価が上がるのは行政としては成功事例の形。</p> <p>②デメリット：子育て支援は充実していたが地価高騰（美浜地区）で若者世代が住めなくなり町外への住居転出者が増えた。</p> <p>③今後の政策：新たな基地返還を進め住環境の整備で定住人口も増やしたい。</p> <p>このような両町の条件は違うが、一連の事象から以下いくつか確認と提言を行い當山町長の所見を伺いたい。まず「確認事項」として次の3点を伺う。</p> <p>(1) 新たな土地を生むことで町民の受け皿をつくりたいとする「町民の受け皿の具体的な意味内容」とは。</p> <p>(2) 建物を壊したいが住宅の予定はない。老朽化や空き家のまま建物の放置を改善したい。これは解体の後押し事業と理解するが、この事例と町民の受け皿との関りは。</p> <p>(3) 老朽化、空き家の建物除去支援事業実施後に住宅建築ができない土地所有者が町営住宅に入居することはできるか。若者世代を含む特に独居高齢者。その際の条件や手続きは。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	2. 嘉手納町の「人口減少対策に施策拡充を」に関する確認と提言 3. 嘉手納町の高齢化の実態・推移と対策支援事業を伺う	<p>次に以下 2 点を「提言」とし町の所見を伺う。</p> <p>(1) 嘉手納町では家族向けの 2LDK や 3LDK の賃貸が少なく町外に住宅を求める若年層も多いとのこと。そこで令和 3 年 12 月一般質問で旧中央公民館跡地の有効活用を提起したが、今回は改めて、その問題解決のひとつとして旧中央公民館跡地に町営高層住宅の追加建設を提起したい。</p> <p>(2) 老朽化、空き家の建物除去支援事業実施後、住宅建築を予定しない方の土地を利活用促進で町が買い上げ町営賃貸住宅建設を。当然、立地場所・土地面積等の条件・他の様々な可否課題はある事は理解する。</p> <p>次に新規「子育て支援事業」の拡充に追加を。</p> <p>(1) 恩納村の通学費補助事業「恩納村内の学生で村外に通学する学生の通学費の負担軽減を目的として、通学距離に応じて助成額を」との報道があったが、嘉手納町の新規事業 4 事案にさらに恩納村と同様な補助事業を実施しては。本町でも町外の高校に通う学生がいることはこれまでも周知の通り。実態の調査と可能な範囲での実施はできないか提起し伺いたい。</p> <p>質問事項 2 と関連しての質問。</p> <p>令和 3 年 3 月一般質問に続きその後の動向について伺う。前回、令和 3 年 2 月現在の高齢者数は 3,242 人で高齢化率は 24.22%。独居高齢者世帯が 1,014 世帯で 18%。令和 2 年 10 月現在の要介護認定者数は 539 人との説明を受けている。また令和 7 年には高齢化率が 26.5% (4 人に 1 人) との予測も。以下 2 点伺いたい。</p> <p>(1) 嘉手納町の 65 歳以上の高齢者数とひとり暮らしの高齢者世帯の各区別の数・要介護認定者数は。(令和 6 年度現在で直近の数値)</p> <p>(2) 嘉手納町では高齢化 (65 歳以上) が進んでいる一方で、生産年齢 (15～64 歳) 人口の割合は</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
1	12 番 金城利幸	3. 嘉手納町 の高齢化の 実態・推移と 対策支援事 業を伺う	減少していき、さらに高齢化が進むと 2050 年には人口が 12,000 人に減少するとの見込みも推測されている。「子育て支援事業と住宅対策のソフト・ハード両事業」と並行して「高齢者・ひとり暮らしの高齢者・要介護認定者に係るさらなる支援」はじめ「地域社会の活性化に資する事業」も本町の重要な諸施策が求められてくるのでは。町長の所見を伺う。	町長 當山 宏
2	4 番 志喜屋孝也	1. 海浜公園 全般とリニ ューアルを 問う 2. サンエー 隣新町第 2 駐車場の防	(1) 4 月の説明会は諸事情で直前にキャンセルとなったが、そのときに来た町民には再説明会の連絡はできたか。 (2) 再説明会の周知はどのようにしたか。役場職員以外の町民の参加人数は。 (3) 海浜公園に説明会案内の看板は設置したか。実際、現場での周知はどのようにしたか。 (4) 平成 28 年 2 月嘉手納町兼久海浜公園リニューアル基本計画書、32 ページがホームページには掲載しているが、冊子として保存がないのは通常のことか。 (5) 5 月 30 日現在、テニス場側街灯が、すべて点灯していない。原因と対策は。その間はテニス使用者がいなくてもテニス場のライトを点灯したらどうか。 (6) ①親が子どもを見守れるようなベンチや施設配置になっているか。 ②ケガ等の対策は。遊具の下はクッション性のあるものか。 (7) ウォーキングコースへのソフトアンツーカー舗装の幅と距離は。 (8) 遊具の暑さ対策は。(シェード屋根の設置は) (9) コンサルティング会社の実績は。 (1) 防犯カメラ撤去の理由は (2) 嘉手納署からの防犯カメラの犯罪捜査への提供は設置から何件か。最近の情報の提供は。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
2	4 番 志喜屋孝也	犯カメラ撤去を問う	<p>(3) 撤去について嘉手納署との相談等はあるのか。</p> <p>(4) 町としては防犯カメラを町内に増やす取り組みは。</p> <p>(5) 精算機のカメらは角度・広角・会話等どのように映るのか。</p>	町長 當山 宏
3	7 番 古謝友義	1. 人口減少対策の課題を問う	<p>令和 6 年 4 月末で嘉手納町の人口は、1 万 3 千人を割込み 12,984 人になった。町としてもいろいろな人口減少対策を講じてきているが、なかなか結果が出てきていないのが現状だと思う。課題について伺う。</p> <p>(1) 空地所有者の 2 割が「行政がかかわるなら」との条件付きで活用を認めているが、町としてはどのように推進していくのか見解を問う。 伊江島など離島では子どもが進学のため島を離れていく。空いた部屋で民泊事業を始めている。本町でも大きい住宅に夫婦だけ、あるいは 1 人だけの家が多数存在すると思うが。</p> <p>(2) 改装資金を助成して、間借りできるような仕組みはできないか。2 世帯住宅補助金を考えているようだが、両方活用できるようにできないか。</p> <p>(3) 水釜第二町営住宅建て替え中だが、既存の住民全員が移るのか確認は済んでいるか。増加分 26 室についての募集はいつごろから始まるのか。</p> <p>(4) 町営住宅の入居基準を町民が入居しやすいよう緩和できないか。</p> <p>(5) 人口減少対策だから移住者の受け入れは考えていないのか。</p> <p>(6) 引き留めるだけではなかなか人口は増えないと思う。移住者向けの専用住宅等は考えていないのか。</p> <p>(7) 第 5 次嘉手納町総合計画では令和 10 年に人口 14,000 人を目標設定しているが、達成可能</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
3	7 番 古謝友義	<p>1. 人口減少対策の課題を問う</p> <p>2. 防災と防犯対策を問う</p> <p>3. 火葬場の建設と今後の墓地の在り方について問う</p>	<p>か。</p> <p>(8) 目標達成のためには、いま進めている対策と別途の方策も考えているのか</p> <p>北朝鮮からのミサイル発射や台湾地震による津波警報等 Jアラートや緊急速報の防災無線が急激に増加している。また比謝川遊歩道のベンチや公共の施設、民間の空き家や塀など至る所に落書きが増加している。対策を問う。</p> <p>(1) 台湾地震の津波警報は朝に出た。それ以前に真夜中の 2 時に津波警報が出たことがあった。町民の行動をどのように把握するのか。</p> <p>(2) 北朝鮮からのミサイル発射警報は夜 11 時前に避難情報が出た。「頑丈な建物か地下に避難して下さい」とあったが、明確な場所はどこか。</p> <p>(3) 町内の落書きは消したか。</p> <p>(4) 公共物以外はどうしたか。</p> <p>(5) 落書き防止対策は考えているか。</p> <p>町民の方からは是非とも火葬場を造ってほしいとの要望を頂いている。建設の可能性を問う。</p> <p>(1) 火葬場建設について町民アンケートをとったことはあるか。</p> <p>(2) 葬斎場建て替え時に火葬場も一緒に考えられないか。</p> <p>(3) 町民に割り当てられる公共墓地は何区画残っているか。</p> <p>(4) 一区画の面積はどれくらいか。</p> <p>(5) 割り当てがすべて完了したら今後どのようにしていくのか。</p>	町長 當山 宏
4	13 番 奥間常明	1. 嘉手納町都市計画マスタープランについて	<p>道路・交通ネットワークの形成で、広域幹線道路・幹線道路において、「沖縄西海岸道路については関係機関と協議のうえ、本町の交通円滑化や地域活性化に留意しつつ、早期整備を働きかけます。」と記されている。また、「交通渋滞緩和や沿</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	13 番 奥間常明	<p>1. 嘉手納町都市計画マスタープランについて</p> <p>2. 嘉手納町のPR促進を</p> <p>3. 要支援・要介護</p> <p>4. 民生委員児童委員協議会への人</p>	<p>道の高度利用促進に資する整備・施策を働きかける」とあるが、通称カデナバイパスの実現には、かなり高いハードルが存在し、困難を要すると考える。そこで、いかに取り組まれていくのか具体的に説明を求める。</p> <p>広報かでな6月号「特集かでの子育てよいところ」を拝読した。率直な感想として、写真、コメント、支援策のイラスト、分かりやすい表説明、色づかい等私なりに素晴らしい仕上がりと高く評価する。これがホームページで県内外に発信され、ひと家族でも、移住が増えることを願うばかりだ。さて、今後について、町長部局・教育委員会として、更なる支援策の充実が必要とお考えをお持ちなのか伺う。</p> <p>要支援者・要介護者を家族に持つ方々には、それなりのご苦労・お悩み・ご負担があるかと思う。出来得るならば自宅介護が、本人にとっても、最後は自宅で家族に看取られるのが幸せな終末の迎え方ではと思われる。しかしながら、現実はそのいかず、介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護医療院のお世話にならざるを得ない。そこで次の点について伺いたい。</p> <p>(1) 上記3施設それぞれに入所されている、町民の数を把握されていれば、示していただきたい。</p> <p>(2) 要支援・要介護認定者で、諸事情で入所できず、自宅介護を余儀なくされている町民の数を把握されていれば、示していただきたい。</p> <p>(3) 経済的(資力)理由で、入所を諦めざるを得ない町民に対しての支援策はどのようになっているのか。</p> <p>民生委員児童委員の存在そのものが、地域のすべての人々の幸せな暮らしを構築していく礎となり、各関係機関との重要な情報共有の中心的立場</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
4	13 番 奥間常明	材確保及び 活動支援策 を	にある。しかしながら時代の趨勢なのか、全国的に成り手不足、高齢化で活動自体が危ぶまれ、自治体全体で真剣に取り組まなければならぬ瀬戸際、待ったなし、喫緊の課題である。例に漏れず我が町もまさにそのような状況だ。行政の施策は、多岐に渡り、そしてよく引用される「優先順位・公平公正」と表現するが、それはそれとしてある程度理解するものの、社協に補助金を出しているとか、自治会と相談してほしいとか、決まりきった回答はナンセンス、今こそ、行政が本腰を上げてプロジェクトチームを立ち上げる時期に来ているといっても過言ではない。課長の答弁はなしで、町長の政策的判断、ご見解を求める。	町長 當山 宏
5	8 番 安森盛雄	1. 進級祝い 金制度の新 設 2. 転居祝い 金制度の新 設 3. 新町通り の花ポット を問う 4. 防犯カメ ラを問う	今年度から入学祝い金制度が新設された。昨今の物価高騰は異常である。町民にも大きく経済的負担が重くのしかかっている状況である。そこで、金額は少なくとも家庭にとっては大分助かるのではと考え今回質問提起した。町の見解を伺う。 嘉手納町内でも人口減少は喫緊の課題である。13,000 人を割り、12,000 人台になった。新築アパートでも 7 万円から 10 万円だと聞いている。建築部材も高騰している中では致し方ない状況だと考えるが、果たして一般の若者が借りることができるのか。転居祝い金制度を使い若者が住める街にできないか。ご見解を。 新町通りの花ポットが現在当初の思いに生かされているか疑問であるが、町当局はどのように考えているか。 最近、嘉手納中学校あたりに不審者が出没し、卑猥な言葉を女子中学生に発した件で、グラウンドにも防犯カメラを設置できないか。 また、新町通りに設置されている防犯カメラも	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
5	8 番 安森盛雄	4. 防犯カメラを問う	そろそろ入れ替えの時期にきていないか町の見解を伺う。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
6	2 番 福地義広	1. 嘉手納基地パパーループ内への防錆整備施設建設計画について	<p>(1) この問題については、當山町長は、日本政府が米側と精力的に協議を重ね取り組み、施設の必要性や安全性などをしっかりと確認した旨を述べている。日本政府は防錆整備格納庫について安全だと明言したのか。また、日本政府が安全だと明言する根拠は何か、具体的に示していただきたい。</p> <p>(2) 當山町長の計画の撤回を含む見直しを求めないとした発言に対して多くの町民から疑問が示されていている。沖縄の歴史の中では「経済振興と引き換えに基地を受け入れる」ことがあったと聞く。今回、町長の計画の撤回を求めないことによって、何らかの経済振興策が実施される可能性があるのかについて伺う。あるとすればどんなことが予想されるのかについても伺う。</p> <p>(3) うるま市石川の自衛隊基地建設計画撤回は、住民運動により政府は計画を撤回した。3月20日うるま市民集会で、中村うるま市長は住民の合意形成や理解を得ることは大変厳しい状況にあり、これ以上地域住民が不安を持って生活することを避けるため市長として政治判断し、沖縄防衛局長に対し、同整備計画の白紙撤回を要請した旨を述べ、その結果、日本政府は同計画を白紙撤回した。政府が白紙撤回に至った経緯及び結果について町長の所感を伺う。</p> <p>(4) 防錆整備格納庫建設計画に対する町長の姿勢の変化に関しては、町民からは「幻滅した」との声が寄せられている。基地機能強化に一貫して反対してきた町長が、今回は期待を裏切った、梯子を外されたとの思いが込められている。この格納庫が安全ではないこと、地域住民の不安</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	2 番 福地義広	<p>2. 重要施設 周辺及び国 境離島等 における土 地等の利用 状況の調査 及び利用の 規制等に関 する法律(以 下「土地規 制法」とい う)について</p> <p>3. 嘉手納町 都市計画マ スタープラ ンについて</p>	<p>が払しょくされないことが明確になったときは、あらためて計画の撤回を求めるのか伺う。</p> <p>(1) 前議会において土地規制法の嘉手納基地及び嘉手納弾薬庫等の特定重要施設指定については未施行であったが、現時点の状況について伺う。</p> <p>(2) 前議会の答弁で「住民の基地負担軽減が進まない中での特別注視区域への指定は、更なる負担の増加となるのでは」との懸念が示された。同法施行にあたり、この懸念に対して国から説明はなされたか。</p> <p>(3) 町民からも不安の声が寄せられている。嘉手納町から出て行かなければなくなるのか、とか、嘉手納町に住めなくなるのか等である。このような疑問の声に、町としての考え方を伺う。「国の相談窓口に聞いてください」というような対応ではなく住民生活を守る町の立場からの見解を伺う。</p> <p>(4) 住民説明会等の開催を求めたが、開催の予定はあるのか。</p> <p>(5) これまでに土地規制法に基づく、国からの調査依頼はあったのか。</p> <p>(1) 本プラン冒頭の町長あいさつで「本町は、町域の82%を米軍基地が占めており、狭隘な行政区域の中で多大な制約を受けております。」と町の抱える基本的な問題について言及している。町域82%が米軍基地である根本の問題について、本プランで触れられていないがなぜか。また、触れないにしても、これに対する町の考える解決策、対応策があると考えている。その内容について伺う。</p> <p>(2) 本プランで米軍基地の返還について言及していないのはなぜか。</p> <p>(3) 町民の使用できる空間、土地を拡大するための方策としては、返還、基地のまま共同使用、</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
6	2 番 福地義広	3. 嘉手納町 都市計画マ スタープラ ンについて	<p>国からの二重賃貸などの方法があると考え るのか。</p> <p>(4) (3)のような町の要請を受ける国の窓口はど こか。また、米軍側の窓口はどこか。また、過 去に国や米軍に要請したことはあるのか。</p> <p>(5) 過去に大雨により幹線道路が冠水し、嘉手納 町は一時孤立状態になったことがあった。方針 4 安心・安全な道路環境の形成(54 頁～)の観点 からすると嘉手納基地を横断するなどの道路の 開設が必要かと思われる。これは津波などの自 然災害時の避難経路(基地内や沖縄市方面への 避難経路等)確保の視点からも必要と思われる が、この点の議論がマスタープランには盛り込 まれていないのはなぜか。また、緊急時の米軍 基地活用について米軍や国と議論したことはあ るのか。</p>	町長 當山 宏
7	3 番 仲村 一	1. 自治会長 の給与を問 う	<p>自治会長の給与が本年度から 1 万円弱昇給する が、昇給の金額の根拠は妥当か。</p> <p>平成 14 年 自治会長の昇給が 5,000 円から 3,500 円に減額。 自治会長初任給。(課長職の初任給格付相当とす る) 事務職員初任給(高卒初任給総統とする)が 削除。</p> <p>平成 15 年 賞与が年間 3.8 から 3.7 に減額。(自治会長・事 務職員)</p> <p>平成 16 年 賞与が年間 3.7 から 3.5 に減額。(自治会長・事 務職員)</p> <p>平成 22 年 賞与が年間 3.5 から 3.1 に減額。(自治会長・事 務職員) 自治会長の給与が初任給 220,000 円か ら 231,250 円になったが昇給はなしに。 当時、中央区 248,000 円 南区 241,000 円。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
7	3 番 仲村 一	1. 自治会長の給与を問う 2. 带状疱疹予防ワクチンについて	平成 30 年 賞与が年間 3.1 から 3.3 に増額。(自治会長のみ) 平成 31 年 賞与が年間 3.3 から 3.35 に増額。(自治会長のみ) 令和 2 年 賞与が年間 3.35 から 3.4 に増額。(自治会長のみ) 令和 3 年 事務職員の初任給が 140,000 円から 160,000 円に。昇給が 2,500 円から 3,500 円に。 令和 5 年 事務職員が国保から社保へ。 (1) 平成 30 年から賞与が事務職員は上がらなかった理由は。 (2) 平成 14 年から 20 年以上が経っている。消費税が上がり、物価も高騰している中で自治会長の給与・賞与は妥当だと思うか。 (3) 近隣の町村と比べて妥当か。 これまで 2 回の提言を行ってきた。その時の答弁では近隣市町村・国・県の動向を注視していきたいとのことだった。沖縄県においても最近では補助する自治体も増えてきている。近くでは恩納村が補助をしている。以下何点か伺う。 (1) 沖縄県において带状疱疹予防ワクチン接種に補助を出している市町村は把握しているか。 (2) 嘉手納町の今後の予定は。	町長 當山 宏
8	1 番 髙原妙子	1. 町営水釜高層住宅の住環境整備を問う	町民からの相談があり、以下を問う。 (1) 団地構内にある芝生広場に駐輪場が設置されているが、車輪止めが低いため、強風時には自転車が倒れてしまう。また、駐輪場には屋根がないため、自転車が雨の影響で錆が出やすいなどの状況にある。改善を求める。	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	1 番 嵩原妙子	<p>1. 町営水釜 高層住宅の 住環境整備 を問う</p> <p>2. がん教育 について</p> <p>3. 学校教育 について問 う</p> <p>4. 小学校登 下校時の熱 中症対策に ついて</p>	<p>(2) 団地構内、北側フェンスの外側から雑草が団地構内にはみ出し、住民はその雑草の草刈りに苦勞している。フェンス外は立ち入ることが困難で、雑草の除去は手に負えない。改善を求める。</p> <p>昨年 12 月の一般質問で女性特有のがんに対してのアピランスケア用品の購入費補助について質問したが、沖縄県は 24 年度予算案として県議会 2 月定例会に提案し、購入費補助の取り組みが開始されている。現代の国民病であるがんについて学校教育現場での状況を伺う。</p> <p>(1) 小学校、中学校のがん教育についてのどのように行っているか。</p> <p>(2) 健康と命の大切さを学ぶための今後の取り組みを伺う。</p> <p>全国的に不登校の小中学生が増加傾向にある。文部科学省の調査では「不登校児童生徒」とは「何らかの心理的、情緒的、身体的あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるために年間 30 日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの」と定義している。年々増加傾向のある不登校児童生徒に対し、学校現場や関係機関の取り組みを伺う。</p> <p>(1) 小中学校の不登校について。</p> <p>(2) フリースクールの現状について。</p> <p>環境省は令和 6 年 4 月 24 日から令和 6 年 10 月 23 日まで「熱中症特別警戒アラート」等の運用を開始した。最近の気候変動の影響を警戒し、高齢者や子どもなど、熱中症のリスクが高い人々に対し、注意喚起がされることから以下を問う。</p> <p>(1) 町内小学校の熱中症対策についてどのような取り組みがされているか。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
8	1 番 嵩原妙子	4. 小学校登 下校時の熱 中症対策に ついて	(2) 子どもたちの健康を守るため、熱中症予防の 対策として、登下校時用の帽子を町から配布で きないか。見解を伺う。	教育長 浦崎直哉
9	10 番 照屋唯和男	1. 部活動地 域移行への 取り組みに 伴う部活動 指導員配置 について問 う 2. 嘉手納町 有財産久得 拝所地の久 得郷友会へ の真正なる 登記名義の 回復を	(1) 学校教育法施行規則改正に伴う部活動指導員 についての考えは実際にかかわる生徒や保護者 に対しての周知の状況は。 (2) 「嘉手納町が目指す部活動の地域移行」の方 向性及びタイムスケジュールなどの大きな方針 を策定し、まず学校・保護者・その他関係機関 に示すべきではないかとの問いに、まずは部活 動指導員の配置等により、先行できる部活動に ついては順次地域移行へ準備していく答弁を聞 いた。どのように取り組んできているか。 (3) 適切な指導員を確保するために、学校と担当 課はどのように協議してきたか。現在嘉手納中 学校においては 14 の部活があり、先に今年度は 学校に聞き取りをしたら、5 つの部に必要とい うことがあったが、学校側と担当課とどのよう に協議してきたか。現在必要とされている部活 動指導員の現状はどのようになっているか。学 校側と担当課との連携はとれているか。現在配 置されている部活は。 (4) 活動中の事故について責任対応の説明等の協 議はどこで行うのか。 令和 5 年 5 月 15 日付け「嘉手納町有財産久得 拝所地の久得郷友会への名義変更について」の要 請の次の事項について見解を問う。 (1) 趣旨説明書の 1 について①～④の根拠により 当該土地は米国民政府布告第 8 号土地所有権を 改正する布告第 3 条第 1 項ただし書きにより管 理者として 1954 年 (昭和 29 年) 7 月 14 日付け で嘉手納村名義で所有権名義にしたものである 事について経緯をどのように解釈しているか。	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
9	10 番 照屋唯和男	<p>2. 嘉手納町有財産久得 拝所地の久得郷友会への真正なる 登記名義の回復を</p> <p>3. 令和6年3月15日付 け嘉手納町有財産久得 拝所地の久得郷友会への名義変更 要請回答の詳細検討結果の提供及 び再検討について</p>	<p>(2) 当該拝所地の管理を字久得が行ってきたこと について。</p> <p>(3) 当該拝所地の真の所有者を久得郷友会とする ことについて。</p> <p>(4) 嘉手納町有地拝所地を旧字に所有権移転した ことについて。</p> <p>(1) 該当する拝所が尚家開墾許可地値（沖糖社開 墾地内）であることについて。</p> <p>(2) 一筆限調書綴りにおける拝所の管理者につい て。</p> <p>(3) 同様の事例について。</p> <p>(4) 小字加釜原の拝所について。</p>	町長 當山 宏
10	9 番 新垣貴人	<p>1. 人口減少 対策につい て</p> <p>2. 防災行政 について</p> <p>3. 兼久海浜 公園リニュ</p>	<p>(1) 企画財政課定住対策係が新設されたが、その 所管事務と事業は。</p> <p>(2) 4月末時点で町の人口が1万3千人未満とな った。どのように捉えているか。</p> <p>(3) 現役世代にUターンやIターンを促す施策が 求められる。特に若年層向けの定住促進住宅や 家賃補助は速効性が期待できる。その見解は。</p> <p>(1) 今年度の避難訓練の計画は。</p> <p>(2) 地域ごとの防災計画の策定状況は。</p> <p>(3) 教育機関、保育施設における子ども達への防 災教育に対する町の見解は。</p> <p>(1) 住民説明会およびパブリックコメントを開催 した趣旨は。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
10	9 番 新垣貴人	ーアル事業 について	(2) 施設利用関係者からどのような意見、要望が 挙げられたか。 (3) 施設利用者のニーズに沿った設計が求められ る。その見解は。 (4) 遊具等は複数案を作成し公募をかけてはどう か。	町長 當山 宏
11	11 番 當山 均	1. 道の駅か でな施設の 管理・運営に 関し	(1) 「道の駅かでな」周辺の環境美化について、 県道 74 号を東進し駐車場に向かい左折する分 岐点正面に、町管理と県管理の分離帯が隣接し て設置されている。これまで町管理の分離帯も 雑草が繁茂し見苦しい状況を度々目にしたが、 昨年下半年頃から町職員が除草作業に取り組んで おり、自治会や地域住民からも「景観が良くな った」と高評価である。 「道の駅かでな」は町の東の玄関口に位置し、 年間 50 万人以上が来場する県内有数の商業施 設であることから、施設周辺の環境美化はアピ ールポイントに繋がると思うが、適期なペース で除草作業を行い景観の維持に取り組むことは 職員の負担増になるだろう。 については、町管理のみならず県管理の分離帯 の維持管理も町が引き受けたうえで、分離帯全 般・県道沿いの花壇・本施設周辺を対象にロー ドパークと同様に草刈り・花の植え替え等の維 持管理作業を民間事業者に委託することを提案 する。 (2) 現在、空いているテナント等の入居予定・募 集状況について。 ①空いているテナント等の場所、面積、退去し た年月、1 月あたりの利用料及び共益費額を 問う。 ②入居予定、募集の取り組み・進捗状況は。 ③条例に「原状回復の義務」が明記されている が、ダクト、グリストラップ、空調機器など 利用者が自己負担で設置した設備はどう対応	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	11 番 當山 均	<p>1. 道の駅か でな施設の 管理・運営に 関し</p> <p>2. 災害時の 外国人住民・ 観光客への 情報伝達及 び避難誘導 等について</p>	<p>したのか。</p> <p>④利用料金は「条例で定める額の範囲内において、指定管理者が町長の承諾を得て定める」と規定し、テナント・物品販売所・食堂も面積の大きさに関係なく一律「1 平方メートル月額 2,000 円」と定めている。</p> <p>食堂の利用料金に対し減額措置を講じていたことや、中規模の物品販売所の入居者が決まらない現状を踏まえ、条例改正して大・中・小規模別に利用料金及び共益費額を設定することを提案する。</p> <p>今年の元日、能登半島地震が発生し甚大な被害をもたらした。それから数か月後の 4 月 3 日早朝、台湾東部沖を震源とする大きな地震が発生し、本町においても防災行政無線から避難指示が呼び掛け続けられたことは記憶に新しい。また、5 月下旬、北朝鮮が弾道ミサイル技術を使用した衛星を打ち上げた際も、夜遅くから J アラートが鳴り響き、町公式 L I N E でも避難指示が発信された。</p> <p>いずれも本町には直接的な影響はなかったが、万が一に備え、災害時の情報伝達及び避難誘導の在り方を確認したく次の質問を行う。</p> <p>(1) 北谷町は要支援者名簿と個別避難計画情報を災害時でなくても、原則、同意なしに外部提供できる条例を制定したことを一般質問で取り上げ、「本町も早急に調査研究に取り組むこと」を提案した。その検討経緯及び条例化に向けた見解を問う。</p> <p>(2) 東区自治会ではボランティアの集いの懇談前に、参加者全員で防災備蓄倉庫に収納されている①組立式段ボールベッド。②避難所用間仕切り（プラスチック）。③簡易組立便座及びトイレ用組立テントを組み立ててみる体験会を企画した。一つひとつ説明書を確認しながらの組立なので想定より時間を要したが、大変貴重な体験</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
11	11 番 當山 均	との懇談会 での要望に 関し	<p>項に対する対応・見解を伺う。</p> <p>(1) 町連合青年会からの要望。</p> <p>①町外の祭り・イベント等で「白龍」演舞出演があった際、天候が悪い日は業者から幌付きトラックをレンタルし搬送している。その経費だけで年間 10 万円程度かかり、財政面で大きな負担になっている。よって、町役場に幌付きトラックを所有して頂き、白龍搬送時等に借用したい。</p> <p>②中央区コミュニティーセンター2階にある町連合青年会事務所の空調機器が壊れている。早急に修理・取り替えて欲しい。</p> <p>③県外・離島へ白龍やエイサー演舞など文化交流に派遣する際の補助金を増額して欲しい。</p> <p>(2) 町PTA連合会。</p> <p>①現在、中学校にはPTA所有のワゴン車2台、軽トラック1台があり、平日は主に生徒指導や管理作業等で使用している。燃料代は町からの助成があるものの任意共済保険代(3台/年間約15万円)及び車検代などの維持管理費はPTA会員から徴収した会費で賄っていると聞く。</p> <p>前々からの懸案事項だが、改めて「PTA所有車両を町名義に変更できないか」との要望があった。見解を伺いたい。</p>	町長 當山 宏 教育長 浦崎直哉
12	6 番 宇榮原京一	1. 公共駐車場の管理運営方針の検討結果は	<p>(1) 嘉手納町東駐車場と中央駐車場の入場から12時間以内100円料金の見直しの検討はどうなったか。</p> <p>(2) 行政センター駐車場の混雑慢性化の解消は。</p> <p>(3) 嘉手納町再開発駐車場の経営は厳しい状況だが、2時間無料から1時間無料への見直しはどうなったか。</p> <p>(4) ゲート式機械設備の現状は。</p> <p>(5) 新町駐車場(八茶坊前)の有料化コインパーキングの導入はどうなったか。</p>	町長 當山 宏

受付 番号	質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
12	6 番 宇榮原京一	2. 道の駅か でなの空き 店舗につい て 3. リフォー ム事業補助 金の増額を	(6) 兼久海浜公園駐車場の放置車両の状況は。 (7) 兼久海浜公園駐車場に立体駐車場の増設はなぜ困難か、必要性がないのか。 (1) 空き店舗の状況は。 (2) 入居の予定は。 (3) 課題は何か。 (4) 指定管理者への影響は。 (5) 今後の対策は。 子どもの出産を機会に、親と子の二世帯、三世帯が同居できる住宅環境を図るために、実家を大規模リフォームする、又は二世帯住宅の改築費にリフォーム事業補助金の増額、あるいは定住促進事業に追加ができないか。	町長 當山 宏
13	14 番 田崎博美	1. 少子化対 策事業を問 う 2. 高齢者が 生き生きと 暮らせる地 域づくりにつ いて 3. 比謝川に 横たわって いた石橋 5 連アーチ橋 の復興につ いて問う	(1) 未婚化、晩婚化の流れを変えるにはいかなる施策が考えられるか問う。 (2) 若者の定住と移住を図るにはいかなる施策が必要か問う。 (1) 高齢者の社会参加の促進について伺う。 (2) シルバー人材センターの設置ができないか問う。 (1) 観光資源としてもポテンシャルが高いが、復元する考えはないか。 (2) 石橋を構築している石材や川底に残っているであろう基礎材の調査はなされたか。 (3) 比謝橋に連なる大通り街道周辺の繁栄を知る生き証人でいらっしゃる渡口彦信氏への聞き取り調査は実施されたか。	町長 當山 宏